

気候情報

2021年10月の日本の天候

- 月の前半は全国的に高温、後半は低温となり、気温の変化が大きかった
- 北日本日本海側では降水量がかなり多かった
- 西日本日本海側では降水量がかなり少なく、西日本太平洋側では日照時間がかなり多かった

10月の天気概況

月の前半は北日本では暖かい空気が流れ込みやすく、東日本以南では高気圧に覆われて晴れた日が多く、全国的に気温が高かった。後半にはこの時期としては強い寒気が流れ込んで低温となり、気温の変化が大きかった。北日本では天気は数日の周期で変化したが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったため、月降水量は北日本日本海側でかなり多かった。東・西日本では高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、月降水量は西日本日本海側でかなり少なく、月間日照時間は西日本太平洋側でかなり多かった。

上旬：本州付近を繰り返し高気圧が通過する一方、日本の北を低気圧が通過したため、北日本では天気は数日の周期で変化したもの、南から暖かい空気が流れ込みやすく、旬平均気温は全国的にかなり高かった。東・西日本と沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

旬平均気温は、全国的にかなり高かった。

旬降水量は、東日本日本海側と西日本でかなり少なかった。北日本、東日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。北日本太平洋側では平年並だった。

中旬：北日本では低気圧や前線の影響を受けやすかったため、旬間日照時間は北日本太平洋側でかなり少なく、旬降水量は北日本日本海側でかなり多かった。東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、本州沿岸から南海上を通過する低気圧や前線の影響で曇りや雨の日も多かった。沖縄・奄美では、13日頃までは台風第18号に伴う湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、17日からは寒気の影響で曇りの日が多かった。

旬平均気温は、西日本でかなり高く、東日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東・西日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

下旬：北日本では、23日頃までは大陸から張り出す高気圧から流れ込む寒気や低気圧の影響で気温が低く曇りや雨となったところもあった。その後は高気圧に覆われる日が多かった。東・西日本では高気圧に覆わ

れる日が多かった。本州の南岸を低気圧が通過して太平洋側に湿った空気が流れ込む日があった。旬平均気温は、期間の前半を中心に寒気が流れ込みやすい状態となったため、かなり低かった。

旬平均気温は、東・西日本でかなり低く、北日本と沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、東日本日本海側でかなり少なく、東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。北日本と西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本と東・西日本日本海側で多かった。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並だった。

10月の気候統計

月平均気温：東・西日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では平年並だった。

月降水量：西日本日本海側でかなり少なく、東・西日本太平洋側で少なかった。一方、北日本日本海側でかなり多かった。北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：西日本太平洋側でかなり多く、東日本と西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本太平洋側で少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

10月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量少ない方から (mm)

日田 (大分県) 8.0

- ・月間日照時間多い方から (h)

熊本 (熊本県) 246.3

2021年10月の平年差 (比) 図

